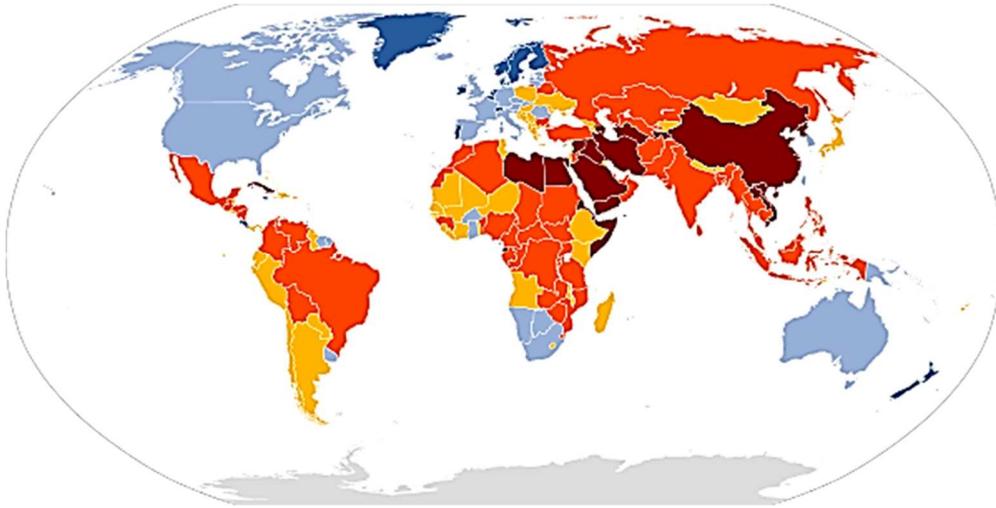


世界報道自由度ランキング 2021



世界報道自由度ランキング

- 非常に良い (Good situation)
- 良い (Satisfactory situation)
- 中程度 (Noticeable problems)
- 悪い (Difficult situation)
- 非常に悪い (Very serious situation)
- 未分類 (Not classified)

国際ジャーナリスト NGO の国境なき記者団 (RSF) は、「世界報道自由度ランキング」の 2021 年版を発表した (2021 年 4 月 20 日)。

首位はノルウェー、日本は 67 位だった。

日本は 2020 年から 1 つ順位を落とした。RSF のコメントでは、菅首相は 2020 年 9 月の首相就任以降、報道の自由の環境改善に向け何も対策をとっていないと批判。特に、記者クラブ制度が、フリーランスのジャーナリストや外国人記者を差別していると伝えた。また、特定秘密保護法 (日本の安全保障に関する重要情報を「特定秘密」に指定して厳格に管理し、漏洩した者に厳罰を科す法律) も批判している。

1	ノルウェー	6.72
2	フィンランド	6.99
3	スウェーデン	7.24
4	デンマーク	8.57
5	コスタリカ	8.76
6	オランダ	9.67
7	ジャマイカ	9.96
8	ニュージーランド	10.04
9	ポルトガル	10.11
10	スイス	10.55
11	ベルギー	11.69
12	アイルランド	11.91
13	ドイツ	15.24
14	カナダ	15.25
15	エストニア	15.25
16	アイスランド	15.37
17	オーストリア	16.34
18	ウルグアイ	16.38
19	スリナム	16.95
20	ルクセンブルク	17.56
21	サモア	19.24
22	ラトビア	19.26
23	リヒテンシュタイン	19.49
24	ナミビア	19.72
25	オーストラリア	19.79
26	キプロス	19.85
27	カーボベルデ	20.09
28	リトアニア	20.15
29	スペイン	20.44
30	ガーナ	21.33
31	トリニダード・トバゴ	21.55
32	南アフリカ	21.59
33	イギリス	21.59
34	フランス	22.60
35	スロバキア	23.02
36	スロベニア	23.10
37	ブルキナファソ	23.17
38	ボツワナ	23.25
39	アンドラ	23.32
40	チェコ共和国	23.38
41	イタリア	23.39
42	韓国	23.43
43	台湾	23.86
44	アメリカ	23.93
45	ECSC	23.98
46	トンガ	24.59
47	バブアニューギニア	24.88
48	ルーマニア	24.91
49	セネガル	25.22
50	ドミニカ共和国	25.60
51	ガイアナ	25.61
52	セイシェル	25.66
53	ベリーズ	27.61
54	チリ	27.89
55	フィジー	27.92
56	クロアチア	27.95
57	マダガスカル	28.24
58	ボスニア・ヘルツェゴビナ	28.34
59	ニジェール	28.44
60	ジョージア	28.64
61	モリシャス	28.74
62	マラウイ	28.80
63	アルメニア	28.83
64	ポーランド	28.84
65	ブータン	28.86
66	コートジボワール	28.87
67	日本	28.88
68	モンゴル	28.97
69	アルゼンチン	28.99
70	ギリシャ	29.01
71	東ティモール	29.11
72	モルディブ	29.13
73	チュニジア	29.53
74	トーゴ	29.59
75	シエラレオネ	29.61
76	北キプロス	29.82
77	パナマ	29.94
78	コンゴ	30.32
79	キルギスタン	30.37
80	香港	30.44
81	マルタ	30.46
82	エルサルバドル	30.49
83	アルバニア	30.59
84	コモロ	30.65
85	ガンビア	30.76
86	イスラエル	30.90
87	ハイチ	31.12
88	レソト	31.61
89	モルドバ	31.61
90	北マケドニア	31.67
91	ベルー	31.71
92	ハンガリー	31.76
93	セルビア	32.03
94	モリタニア	32.25
95	ギニアビサウ	32.68
96	エクアドル	32.83
97	ウクライナ	32.96
98	リベリア	33.36
99	マリ	33.50
100	パラグアイ	33.52

【参照】 [2021 WORLD PRESS FREEDOM INDEX](#)